



くじら工房
松田千草さんの作品

全体研修に向けて

2020年7月、私が前職を退職し、かいゆうの企画室を担当した頃、新型コロナウイルス感染症の流行による様々な制限のある中での最初の仕事が、全体研修のディレクションでした。

かいゆうの全体研修は、あれこれカタチを変えつつも、NPO法人くじら雲の頃から利用者さんやご家族に協力をいただき、年1回全職員が参加する研修を続けてきていましたが、人材不足に感染症が重なり、気軽に「ご飯行こうよ！」と声をかけることも憚られた時期に、どうしたらスタッフの支えになることができるだろうかと考えながら研修の企画をしていたことを思い出しながら、今年の研修企画への想いを新たにしています。

令和6年度の報酬改定では、感染症の予防及びまん延防止のため研修・訓練の実施、地域に開かれたグループホームであるための『地域連携推進会議』の設置、事業継続計画（BCP）の策定義務化と研修の実施、情報公開義務な

どの対応が追加され、実施できていない場合には『減算』というペナルティが課されるものもあります。

やらなければいけない事が増えるばかりの一方、形式的に整えるだけでは、いずれ組織としての歪が生じてしまいます。看護師だった母から、「3年前の知識や情報は古くなる、変化の歴史や背景を捉えながら学び続ける必要がある」と教えられたことを思い起こしながら、変化する課題やニーズに応じていくには、個の学びと併せて仲間

の存在が大切だと痛感しています。
今年10月のかいゆう全体研修では、埼玉県東松山市で地域福祉・共生のまちづくりに取り組んでいる『社会福祉法人昴』の実践から学びます。改めて、ともに働く仲間

の存在を感じ、感謝し合える研修の機会となるよう準備に励みたいと思います。
全体研修の開催にあたり、協力いただく皆さまに心から感謝を申し上げます。（理事長 池田希咲）

くじらハウス

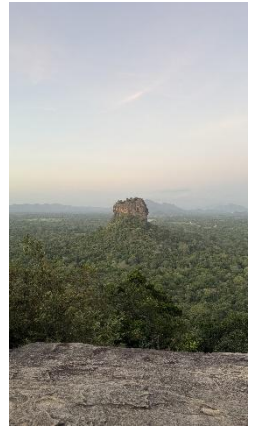
世界遺産

こんにちは！初めまして！7月からくじらハウスにて勤務させていただいている青木です！こちらに来る前は高齢者施設で働いていました。前の職場とは全く違う環境の中、緊張と不安でいっぱいでしたが、職員の方々が優しく迎え入れてくれ、利用者さんの笑顔にも日々癒されています。

仕事も楽しい毎日ですが、私がもう一つ楽しみにしている趣味の話をさせてください・・・それは旅行です！

世界遺産や現地の人の食べ物や暮らしに興味があり、年に2回ほど海外旅行に行っています。ぼったくられそうになったり、部屋に入ったら知らない人がいたりアクシデントはつきものですが、それ以上に色々な経験体験が出来ます。これから、現地で撮った写真やお土産話を皆さんにお届けして、少しでも楽しい気持ちをおすそ分けできたら嬉しいです！

お話することが大好きなので、これから色々な方と交流するのが楽しみです、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします！（青木）



はじめの一步ハウス

新しい家族 パート1

こんにちは！実は、今年5月に2匹目のハムスターをお迎えしました。名前を「ばぶり」と言います。キンクマの女の子です。よく食べてよく走っていて、とてもかわいいです♡活発すぎて、空気穴をかじって広げて脱走してしまいました…。(現在、広くて新しいお家に引っ越しています)

元気にスクスク育っています！現在、元々いたジャンガリアンのはむには約120gなのですが、8ヶ月後に生まれたばぶりは130gになりました！それもそのはず、ばぶりは野菜果物何でも食べます。たくさん食べてずーっと走っています。そして昼間はよく眠っています。健康的な生活、見習いたいです。近くでビニールの音がすると、近寄ってきます。ご飯やおやつだと思っているみたいです。かわいくて、毎回おやつをあげてしまいます。

逆にはむにはインドア派。ごはんの減りもゆっくりで、走らず座っていることが多いです。時々、立ってこちら

を見ています。(かわいいです) 野菜は好き嫌が多く、特にピーマンとミニトマトは残しがちです。

ハムスターにもそれぞれ個性があるなあと感じます。でもそんなはむにとばかり、私が帰宅すると絶対お出迎えしてくれます！2匹ともお家の隅に立って、玄関の方をのぞいています。そんな姿を見て、疲れが吹っ飛びます！

色々大変なこともあります。ハム達のためにお仕事頑張りたいと思います！（遠藤）



子供を持ちたいと思ったことはありませんでした。その理由は私が育ってきた環境が、割と影響しているからかもしれません。ただ、いくつかの偶然が重なってかいゆうより以前に入職した、地方の放課後等デイサービスでの利用者さんとの関りや、何人かの友人の子供たちとの関りが、少しずつ、子供って「すげーな！」と、私に夢を与えてくれることになりました。

きっかけはきちんと覚えています。ある日、友人の家に遊びに行くと、当時は小学生になったばかりだという女の子が、「ごみさんってお友達、何人いるの？」と尋ねてきました。「ごみさんの友達は、この三人だけだよ」とその場に居合わせた三人の友人を指して答えると、「じゃあ今日で（お姉ちゃんと私と、そこにいた猫2匹とで）7人に増えたね」とまっすぐに、私に言うのです。

それから、長年の友人に娘が生まれた日。その日、私はその友人の母、その子から見れば祖母と一緒に、そのお家のお手伝いで、家の周りに生えた木を切っていました。木をのこぎりではっきりと切り落としながら、「生まれたよ」という新生児の写真付きのメールを受け取って、私はその日の空の向こう側や、切り落とされた木や植物であふれた庭を見下ろしていました。友人がいつか昔にそこから見た空や、遊んでいた庭と同時に、その子がいつかそこから見るであろう空や、遊ぶであろう庭に思いを馳せながら。

その子とはいまでもたまに遊びます。なかなか心を開かないその子が、ほとんど唯一、一緒に歩く家族以外の大人が私らしいのです（ちょっとした自慢です笑）。コンビニまで一緒におやつを買いに行く道すがら、その子はお店のショーウィンドウに飾られた中でも、特に好きなおもちゃを指さして教えてくれたり、通り道にあるお蕎麦屋さんが好きなことをぽつり、ぽつりと教えてくれます。それから、コンビニでおやつと（私と友人夫婦用に）ビールをたくさん買って、また少しだけ歩くのです。子供にとってではなく、私にとってこそ、その散歩は発見の連続なのです。

そして思い出すのです。私の母も、私同様に30代で介護の仕事に飛び込み、小さな我が家の本棚が気付けば、ミステリー小説から、介護、福祉の本にかわって、あふれていたことや、母と一緒に散歩した夜道、二人だけで行った夜の野球場で（当時、私は元野球少年の登校拒否児でした）、妹には内緒でジュースを飲んだこと。

私が母に何かを返せたかはいまでも分かりません。「あんたを育てるのは、私の価値観を毎日壊さんといかんで、大変だったけど、楽しかったわ」（島根弁です）。ただ、ここに書いただけではなく、たくさんの子供たちと関りながら、こちらがたくさんの夢や発見や少しの懐かしさを貰うのです。傲慢な私は、その子供たちとの関りをすべて覚えていようと思うのです。（五明田）

たまりば宙

縁あって…



4月から日中支援事業「宙」で週2回スタッフとして勤務している片山です。以前一步ハウスが東福祉会館の近くにあった頃、縫い物ボランティアとして関わっていたご縁で宙に勤務するようになりました。

慣れない事ばかりですが、頼りになるスタッフや優しい保護者の方、そして何より元気な利用者さん達からパワーをもらって楽しくお仕事しています。

至らないところもありますがよろしくお願いします。

趣味は駅タグ収集 🚆 鉄オタ YouTube 視聴です

（片山）

～サービス休止のお知らせ～

10月19日（日）

職員全体研修のため、

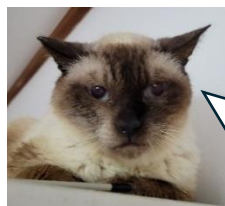
お休みいたします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力

のほど、よろしくお願いいたします。

愛猫が虹の橋を渡ってから3年が経とうとしていた7月のある日、このところいつも顔を見せてくれて家でおやつを食べていく地域猫の「クロくん」が被毛にべったりとりもちのようなべたべたしたものを付けて、半身ゴミだらけで現れました。

自力で取ってあげるべくクリーナーを購入しましたが、チュールを食べている間に触れはすれとてもゴシゴシ取るなんてことは出来ない、と判断し、小平市役所に連絡をして、保護猫活動をしている方に繋いで頂き、大捕り物の末、捕獲、病院へ。首輪をしている猫だったのですが飼い主が分からず、「保護しています。」のチラシを作っていただきご近所にポスティング、すぐに飼い主が見つかりました。外を自由に行き来できるような飼い方をしていましたが、私が住む地域は猫好きが多く、なんと8か所も回ってごはんを食べていたことが分かり、「アイドル猫」でした。



シャム吉くん(推定8～10歳 男の子)我が家のあたらしい家族



ネロ(生後3か月 女の子)我が家の新しい家族

アイドル猫
クロくん



今回お世話になった保護猫団体さんのシェルターがすぐ近所にあることが分かり、お掃除ボランティアをすることに、週に何回かシェルターの掃除に向かい、保護猫たちに癒されていましたが、「猫を飼いたい。」という気持ちが猫に触れることにより収まってくるはずもなく…自然な流れで我が家に保護猫がなんと2匹も家族として来てくれることになりました。愛猫を亡くしてからずーと、またいつかしたかった「猫との暮らし」が現実になりました。とはいえ夢と現実は違うもの、若干人馴れしているとはいえ今までと全く違う環境に戸惑う2匹の猫と2人の人間…初日は散々たるものでした。

子猫(生後3か月くらい)は大暴れ、成猫(推定8～10歳)は夜泣き…この先どうなっていくのか、一日でめげそうになりましたがそのぐらいが丁度いいかもと、いつの日か膝にだっこできる日を夢見て、地道にお世話をしていこうと思っています。アイドル猫クロくんは、もうおうちには入ってくれませんがおやつを食べに来てくれています(笑)(小野)



シェルターの猫たち

ネコ道の会 小平シェルター

小平氏学園東町1-9-17 ぶんこ 2F

★里親様 随時募集中★

来歩ハウス



よしこさん

おかえりなさい💎

マイコプラズマ肺炎と反応性関節炎で約2ヶ月入院していたよしこさんが来歩に戻ってきました！現在リハビリ頑張っています！

イベント 報告



5月18日 青柳わっしょい祭り

青柳では昨年の再開に引き続き今年もわっしょい祭りを開催しました！当日の天気も雨に降られず暑さも厳しくなくちょうどよい気候でした。

今年新たに取り入れたのはスタッフ用のTシャツです。青柳のGHのスタッフで絵が得意な方が入居の方々と共同で作成しました。これで祭りに来てくれた方からも分かりやすくなったと思います。

法人の関係者だけでなく近隣の方もお子さんを連れてきてくれてありがとうございました。

ヨーヨーすくいや的あてに熱中してくれたり、途中から綿あめもお子さん自身にもやっていただき、いい経験になっていたらと思います。

入居者の方も笑顔で楽しんでいる様子だったのが好印象でした。毎年開催して少しでも地域との関わりを続けていけたら幸いです。

6月7日 たまりば宙「羊毛アートにふれよう」

たまりば宙にて、6月7日(土)にワークショップ「羊毛アートにふれよう」を開催いたしました。前回好評につき二回目の開催となります。今回も予想を超えるお客様に来ていただき充実した会となりました。

講師(宙スタッフ)：望月妙子さんより

今回は巾着を用意しました。チューリップ、あやめ、菜の花、あじさい等お花を中心としたモチーフを刺していきます。モチーフ選びから慎重な方、お話ししたいが先行しちゃう方、真剣に挑む方、個性も様々。人にものを教えるのは毎回難しく言葉を選びます。それも始めましての人ばかり…毎回ドキドキです。楽しんでいただくをモットーに、これからも頑張ります。

宙スタッフ：三浦明子さんより

長い夏の合間に涼をとりながら教室を開催することができてよかったです。



なんだかんだ一番
楽しんでる人(笑)





6月13日14日 くじら工房「Hello!展」

6月13日と14日はくじら工房「Hello!展」でした！今年はいきゆう以外の事業所の方々にも出店を呼びかけ、よりみんなが集う場所となるよう想いを込めました。メンバーと装飾や作品づくりなどワクワクしながら準備しました。

会場を彩ったのは、工房利用者のMさんが30年前にお子様の保育園のイベントのために制作した2畳ほどあるパッチワーク！今回のいきゆうだよりの表紙になっているものです。

13日は、お客様として他事業所からたくさんの方が遊びに来てくれました。知った顔が多く、照れくさい気持ちや、新鮮な気持ちになりました。14日に行われた目玉イベントは、ハープの演奏と絵本の読み聞かせ。昨年に続きくじら工房で毎月演奏をしてくださっている矢内さんがしてくださいました。美しい音色に自然とみんなが歌い出し、会場が一体となったとき本当に幸せな気持ちになりました。

今回、多くのボランティアさんにご協力いただきました。スタッフだけでは気づかないアイデアやご配慮をいただき、本当に感謝しています。

Hello!展が、地域の方や保護者様にくじら工房のことを知ってもらう機会になっていたら嬉しいです。くじら工房はInstagramもやっていますので、ぜひご覧ください。



7月5日 YMCA 夏まつり

7月5日にYMCA 医療福祉専門学校の夏祭りにいきゆうが参加しました。いきゆうブースは塗り絵、ボーリング、輪投げ、くじら工房生産品の販売でした。

イベントでは学生さんとの交流がとてもできました！「いきゆうブース」として割り当てられた教室に、担当の学生さんが数名いて、事前準備から当日まで一緒に行いました。これまでは「いきゆうブース」はいきゆうメンバーのみで行っていたのですが、昨年からは学生さんと作り上げていく形になり、とても楽しいです。

特に今年は、学生さんたちの主体性のある動きに驚きました。「どうしたら楽しくなるか」ということをピュアに考えて、全力で取り組む姿は、見ているこちらにも楽しくなってきます。彼らが今後、福祉の場で活躍するのだと思うとワクワクします。

とても刺激を受けたイベントでした。YMCA 医療福祉専門学校の皆さま、今年も参加させていただき、ありがとうございました。

